

国道3号 鳥栖^{とす}拡幅が 令和8年度内に4車化します

- 国道3号鳥栖^{とす}拡幅は、交通結節点である鳥栖IC^{とす}付近の交通渋滞の緩和や交通安全性の向上、周辺の開発計画の支援等を目的とした事業です。
- この度、用地買収が完了したことに伴い、残る工事工程等を精査した結果、鳥栖^{とす}拡幅について令和8年度内に4車線で開通する見通しとなりましたのでお知らせいたします。
- 引き続き、一日も早い開通に向け、工事を推進してまいります。

開通により期待される主な効果

- 交通混雑の緩和や交通安全性の向上
- 物流の効率化を支援
- 企業誘致の促進や雇用拡大の期待

問い合わせ先



国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

TEL：0952-32-1151（代表）

技術副所長 上馬^{かんまにわ}庭^{たけし} 健 （内線204）工務課長 田島^{たしま} 大輔^{だいすけ} （内線411）

事業概要

とす 国道3号鳥栖拡幅

とす
■ 国道3号鳥栖拡幅は、交通結節点である鳥栖IC付近の交通渋滞の緩和や交通安全性の向上、周辺の開発計画の支援等を目的とした事業である。

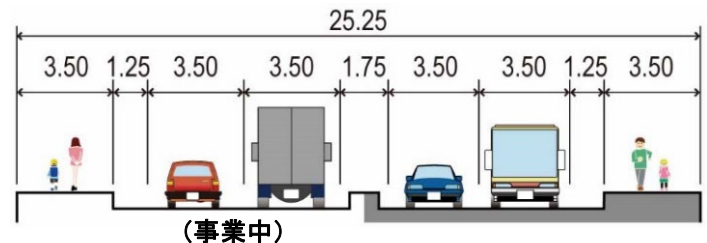


▲ 位置図



▲ 路線概要図

事業区間	起) 佐賀県鳥栖市姫方町 終) 佐賀県鳥栖市酒井西町
計画延長等	2.4km (第3種第1級、設計速度80km/h)
幅員	25.25m (4車線)
事業化年度	平成20年度



(事業中)

(単位：m)

▲ 標準断面図

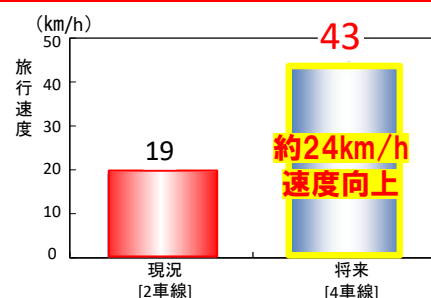
事業区間の状況



- 鳥栖拡幅区間では、交通混雑の発生により速度が低下しており、特に主要渋滞箇所である曾根崎交差点等では、旅行速度が20km/h台以下と低い状況にある。
- 鳥栖拡幅区間の死傷事故件数は、県内の国道平均に比べ約3倍と高い。また事故特性としては、交通渋滞に起因していると想定される追突事故が約7割と最も多い状況にある。
- 鳥栖拡幅の整備により、交通混雑の緩和や交通安全性の向上が期待される。

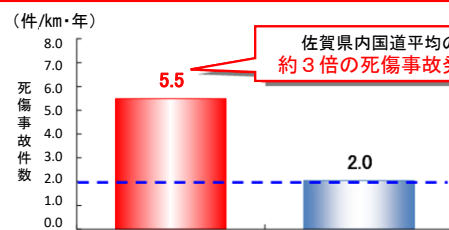


速度向上が期待される！



資料：[現況]プローブデータ (R5.4～R6.3 平日混雑時)
[将来]R22交通量推計結果

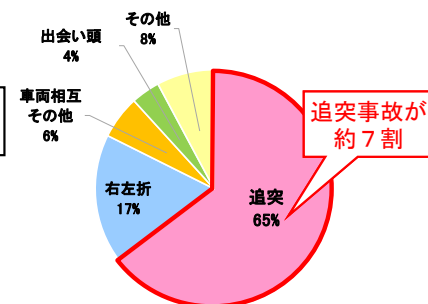
▲ 鳥栖拡幅区間の速度変化



佐賀県内国道平均の約3倍の死傷事故発生

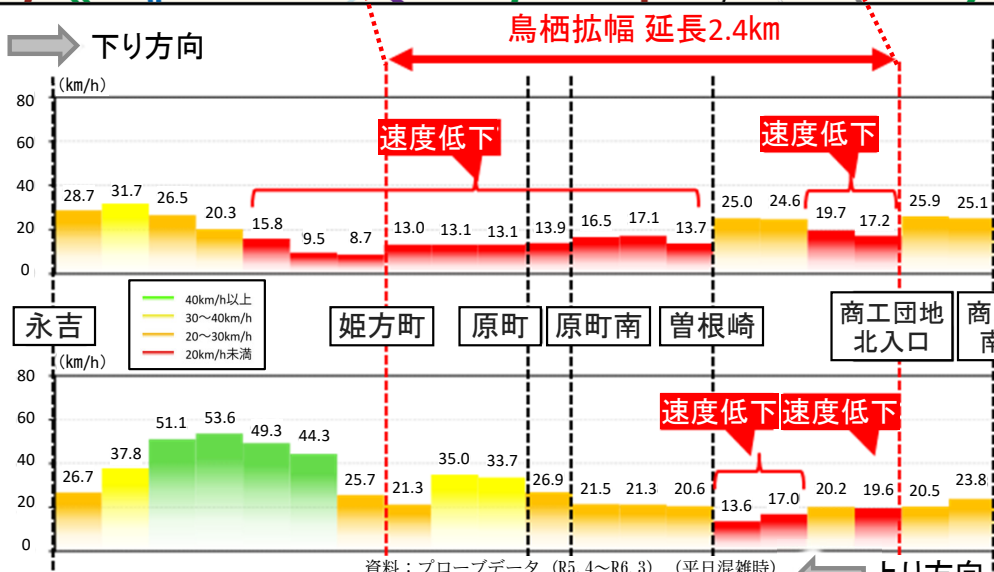
資料：交通事故統計データベース (R1～R4の4年平均)

▲ 交通事故発生状況 (kmあたりの死傷事故件数)



資料：交通事故統計データベース (R1～R4)

▲ 事業中区間の事故類型 (姫方町交差点～商工団地北入口交差点)



▲ 区間別の旅行速度

資料：プローブデータ (R5.4～R6.3) (平日混雑時)



▲ 事業中区間の交通状況

- ・ 鳥栖拡幅区間は慢性的に渋滞しており、生活道路や通学路が抜け道として利用されており、生活道路での交通安全性に支障が出ている。
- ・ 国道3号の渋滞緩和により、国道3号沿線への出入り交通に関する追突事故などの減少や、生活道路の通り抜け交通が減少することで、生活道路の安全性向上に期待している。





- 鳥栖拡幅は九州の交通結節点となる鳥栖JCTの近傍に位置し、物流企業
が多数立地しており、多くの物流車両が当該区間を利用している。
- 鳥栖拡幅区間の大型車混入率は九州平均の約3倍と高く、九州の物流に
おける大動脈を担っているが、当該区間は慢性的に混雑しており、物流に
支障をきたしている。
- 鳥栖拡幅の整備により、交通混雑が緩和され、物流効率化の支援が期待
される。

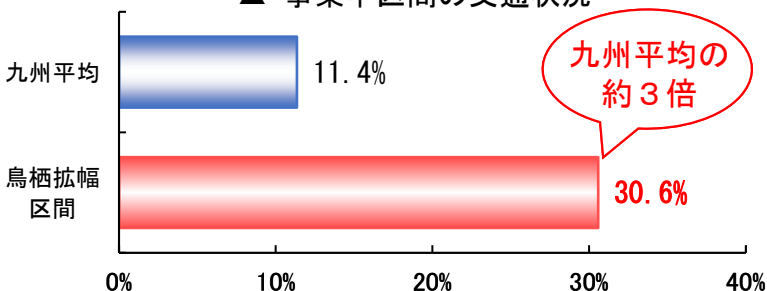


資料：鳥栖市HP、鳥栖市商工観光課ヒアリング(R6.7)

- ・ 鳥栖拡幅区間は混雑しているため、
出荷の際に輸送時間に余裕を見る必要がある。
- ・ 鳥栖拡幅整備により交通混雑が緩和すれば、
輸送時間の短縮や輸送時間が読めるようになり、
業務の効率化につながる。

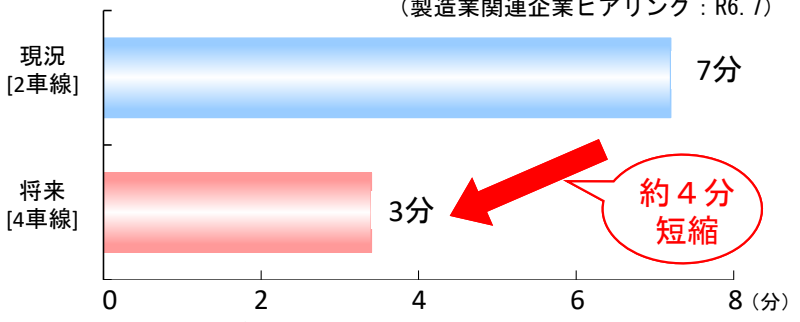


▲ 事業中区間の交通状況



▲ 大型車混入率 (R3) 資料：R3全国道路・街路交通情勢調査

(製造業関連企業ヒアリング：R6.7)



▲ 所要時間の変化(姫方町～商工団地北入口)

資料：[現況]プロブデータ(R5.4～R6.3 平日混雑時)、[将来]R22交通量推計結果

- 対象地域の沿線には「鳥栖商工団地」や「グリーン・ロジスティクス・パーク鳥栖」等の物流拠点が多数立地し、令和6年6月には小郡鳥栖南SICが開通また、「サザン鳥栖クロスパーク」などの新たな産業団地の整備も進んでおり鳥栖市の従業者数や製造品出荷額は増加傾向にある。
- 鳥栖拡幅の整備により、当該地域の交通円滑化が図られるとともに周辺ICへのアクセス性が向上することで企業誘致の促進や雇用拡大など、更なる地域活性化の支援が期待される。

SAGAグローバルリサーチセンター



○久光製薬株式会社の研究棟
○2024年3月竣工

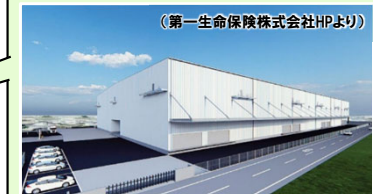
新産業集積エリア整備事業



新九州工場（仮称）のイメージ
○総面積：約27ha
○アサヒビール株式会社鳥栖工場の進出が決定
○2029年操業開始予定（鳥栖市HPより）



九州センコーロジ(株)鳥栖物流センター

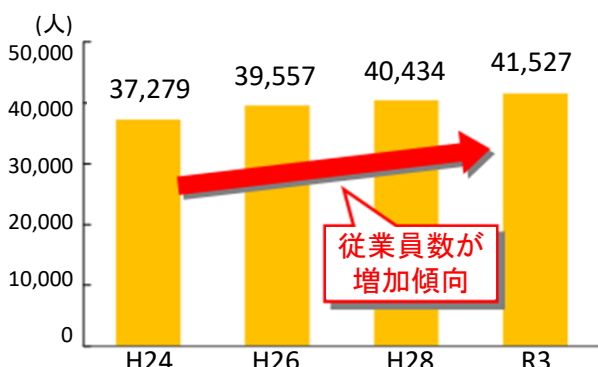


○延べ床面積：約12,400坪
○2025年3月竣工

サザン鳥栖クロスパーク

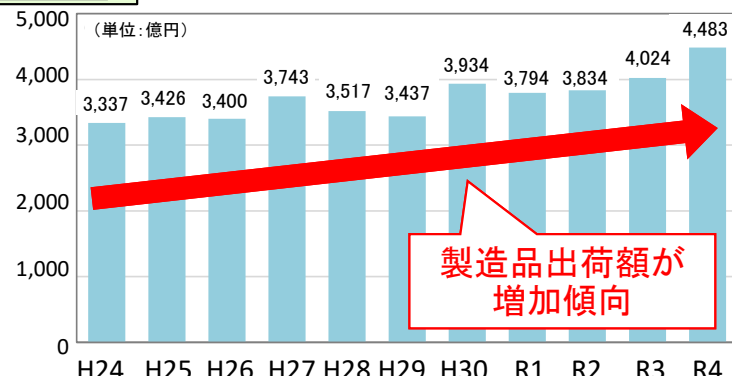


○面積：34ha
○業種：製造業、情報通信業、物流業等
○R6年2月に優先交渉権者の決定（東急不動産株式会社）
○R12年度操業開始予定（鳥栖市HPより）



※民営事業所のみを対象に集計 資料：経済センサス

▲ 従業者数の推移（鳥栖市）



資料：工業統計、経済センサス、2023経済構造実態調査

▲ 製造品出荷額の推移（鳥栖市）

・経産省の工場立地動向調査によると、高速道路へのアクセスの良さが企業進出の決め手となっている。そのため、渋滞緩和により鳥栖ICや小郡鳥栖南スマートICへのアクセス性が向上することで、さらなる企業誘致の促進が期待される。

